

公 亜 雅

年上彼女の

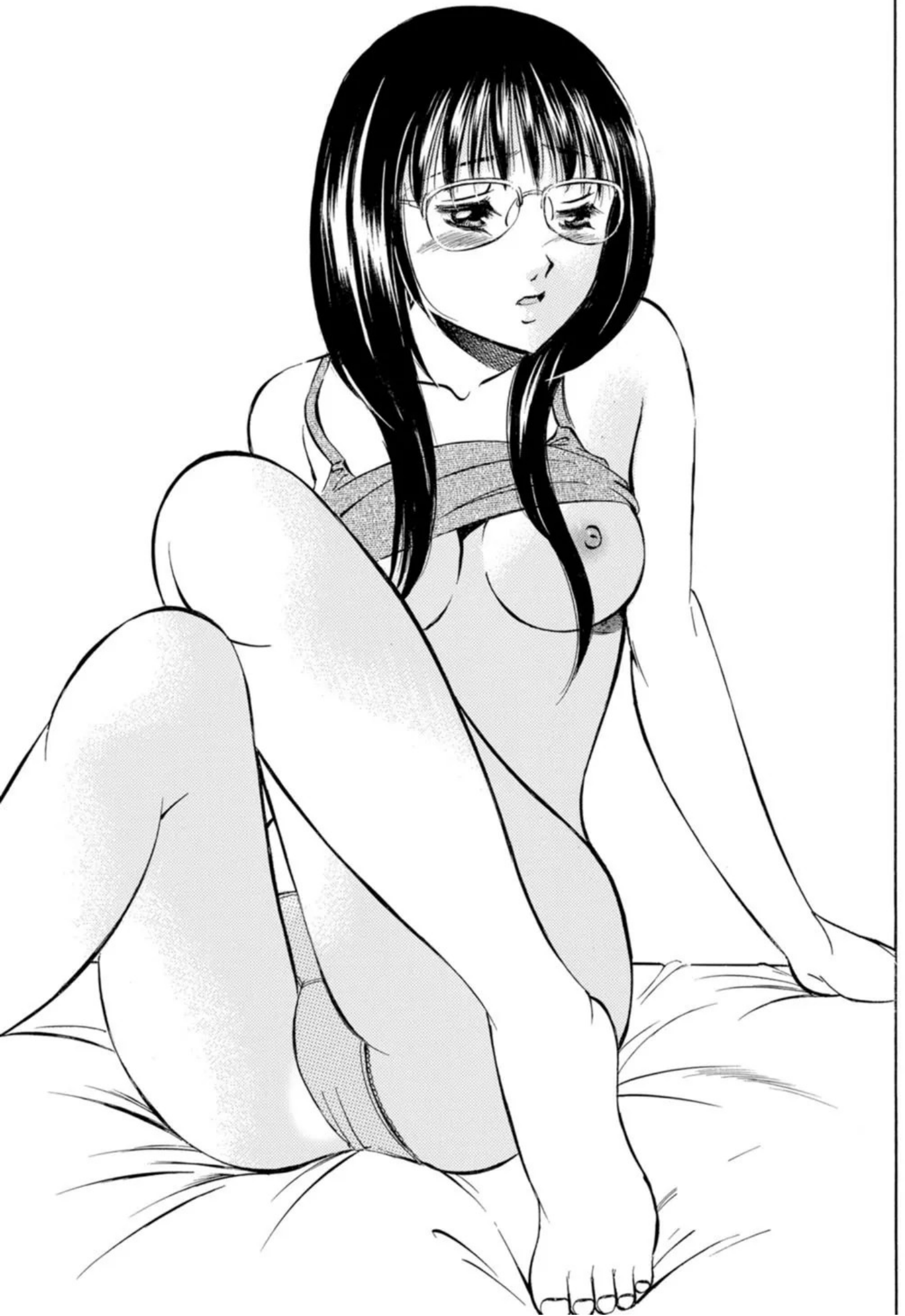
～初恋女性と浮気エッチ

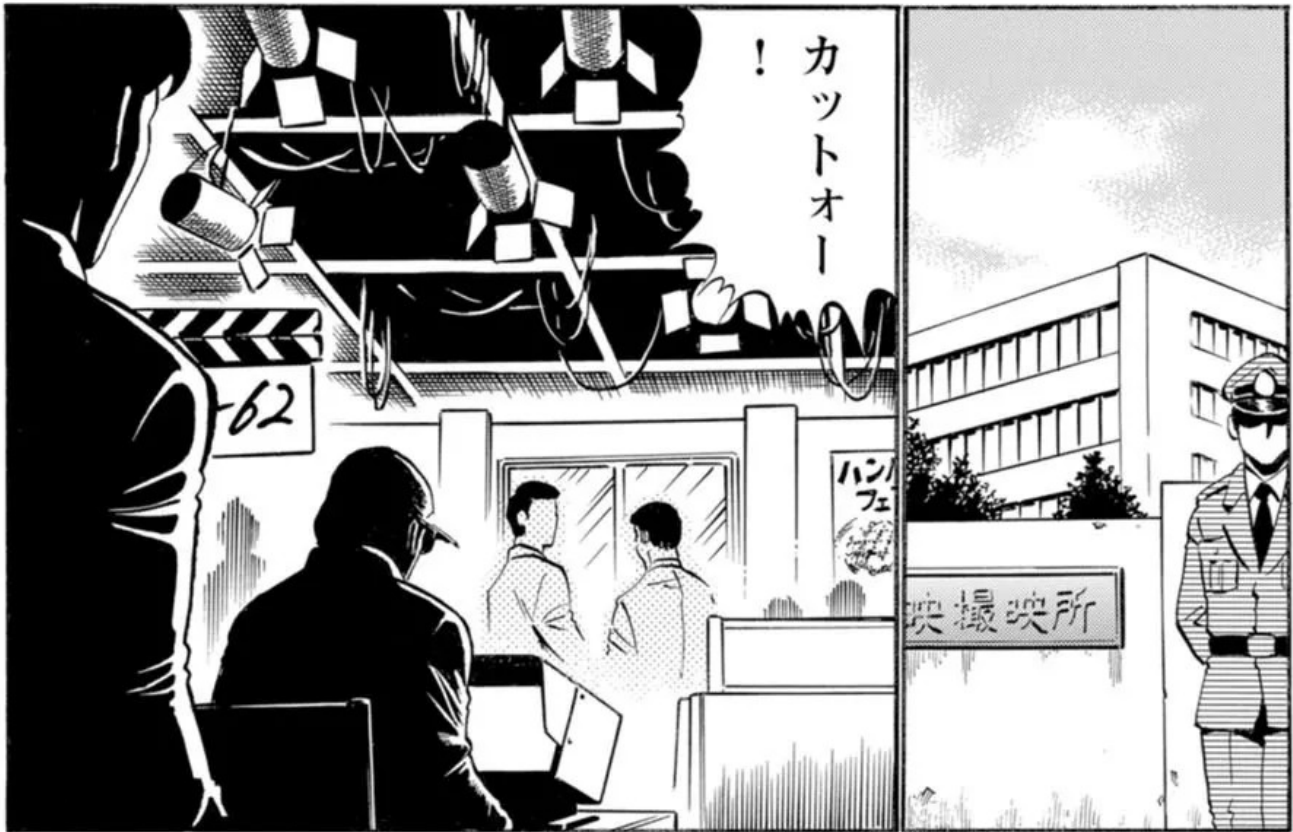
締まるナカ

# 年上彼女の締まるナカ ～初恋女性と浮気エッチ

---

第1話





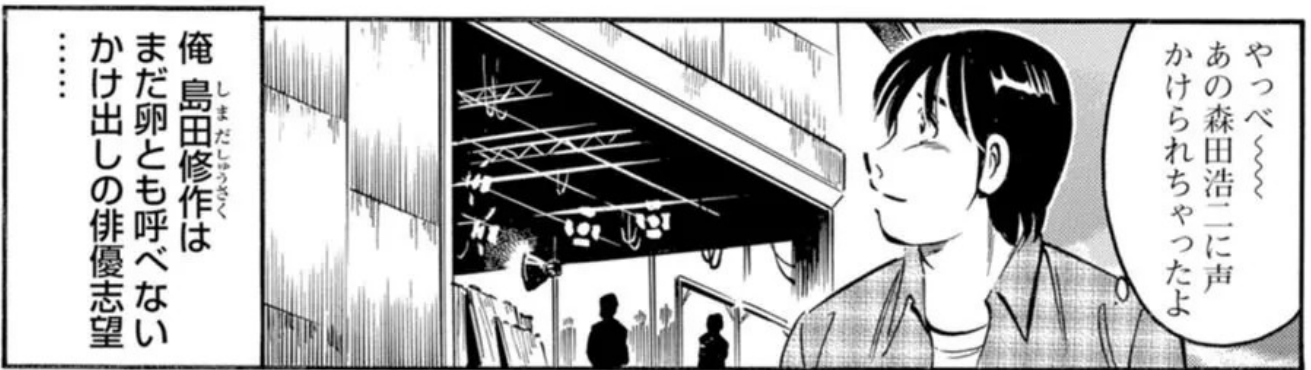


はいっ  
一応事務所に  
入ってて俳優を  
目指してます

そうか

いい目を  
してるし顔も  
覚えやすいな  
頑張れよ

あ  
ありがとう  
ございます！



やっべ〜  
あの森田浩二に声  
かけられちゃったよ

俺 しまだじゆうさく  
島田修作は  
まだ卵とも呼べない  
かけ出しの俳優志望  
……



ちよこちよこ  
あちこちのドラマや  
映画に顔を  
出しているが……

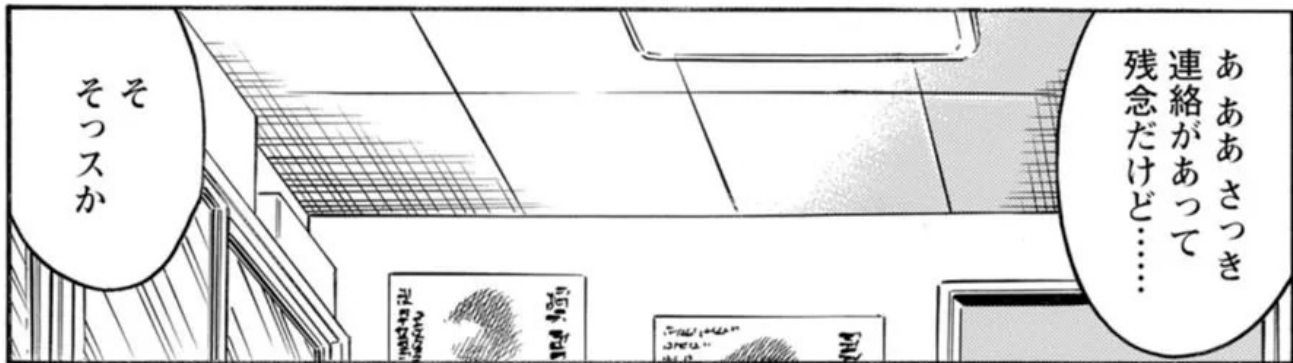
おはよう  
ございませう



そのほとんどは  
セリフもない  
ただの  
エキストラだ

本日の仕事  
終わりましたー

あ島田くん  
お疲れさま





知名度ゼロの俺にファンなんているわけねーし昔の同級生か何かかな……

誰だ  
いったい……



君のファン  
だって可愛いコ  
だったわよー

ファ……  
ファン!?



酒?



手紙が……

くおんじ  
久遠寺マリ  
……誰だ?

あなたのファンで可  
頑張、下士!!  
久遠寺マリ



そしてプレゼントの  
お礼をかねて  
次の日の夜  
彼女と会うこと  
になった



電話をして  
みると彼女は  
全く知らない  
女性だった

驚いたことに  
彼女は本当に  
俺のファン  
らしかった





なかなか  
中々人生って  
思うようには  
ならないですよ  
ね  
.....

お  
俺もっスよ

高校卒業して  
役者になるために  
上京してもう  
4年経つけど

オーディション  
受けても全オチだし  
最近じゃエキストラの  
仕事しか回って  
こなくて

でも私  
島田さんのこと  
知ってたよ



え.....

ほら島田さん  
何年前かに『浪漫』  
って映画に出てた  
でしょ？



ああれは珍しく  
1分くらい出演が  
あってセリフも...

そう！その時に  
顔を覚えて  
その後ずっと  
チェックしてたの

私も声優の世界じゃ  
ちよい役ばかりの  
エキストラみたいな  
もんだから

映画やドラマを  
観ると自然に脇役や  
エキストラの人に  
目がいっちゃうの



そ  
そうなんだ...

島田さんてね  
エキストラの中に  
いてもちゃんと  
わかるのよ覚え  
やすい顔っていうか



私ずっと  
応援してます  
から

島田さんは  
いつか必ず  
ブレイクしますよ



あそれ昨日  
森田浩二さん  
にも言われた

え!? あの  
森田浩二に?  
すごい!



あ  
ありがとう...

確かに顔も  
可愛いけど

この人の声って  
すごく耳ざわり  
がよくて  
好きだな...



どうしようか  
その辺の  
ファミレスで  
始発待つ?



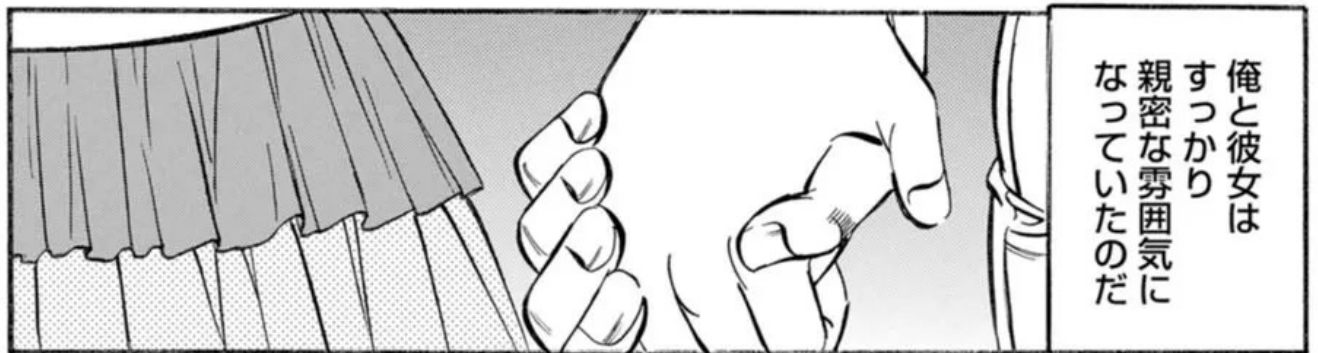
へえー実家  
酒蔵なんだ

うん  
地元じゃ結構  
有名なのよ



どうりで酒が  
強いワケだ

その夜は二人して  
盛り上がってしまい  
気がつけば終電は  
とっくに行って  
しまった後だった





これまで聞いた  
どんな女性の声  
よりも甘く  
官能的で……

それが余計に  
俺を興奮させた



あん……

あつ

彼女のあげる  
切ない喘ぎ声は  
……



ようやく彼女の  
カッパ  
身体から離れたのは  
明け方近くになって  
からだだった



彼女の熱い  
花芯を突くたびに  
声があがる

その声が聞きたくて  
俺は夢中になって  
腰を動かし続け……



そっか：  
シューサクくんは  
まだ23なんだ

いいなあ

ありがとう

いいって？

あたしもう25よ  
声優はともかく  
アイドルっていう  
年じゃないもの

大丈夫だよ  
マリさん童顔だし  
年3つくらい  
サバよんでも

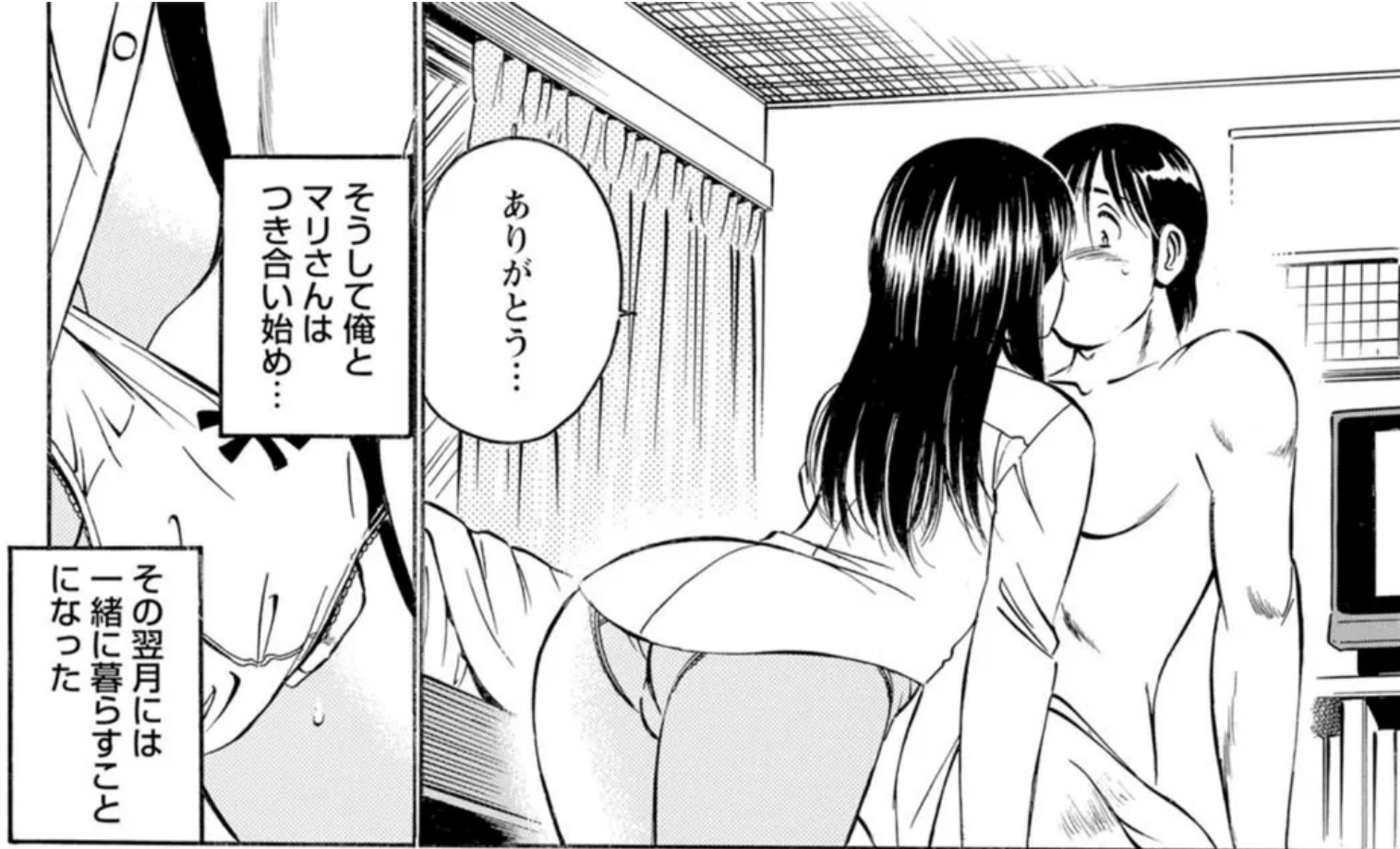
親にも  
言われてるのよ  
25になっても芽が  
出なかつたら家に  
戻ってこいって

もう少しで主役が  
とれそうだからって  
ずっとごまかし  
続けてきたけど：

…大変なんだ  
マリさんも

でも俺  
マリさんの声  
すごく好きだよ

絶対そのうち  
主役とれるって



ありがとう…

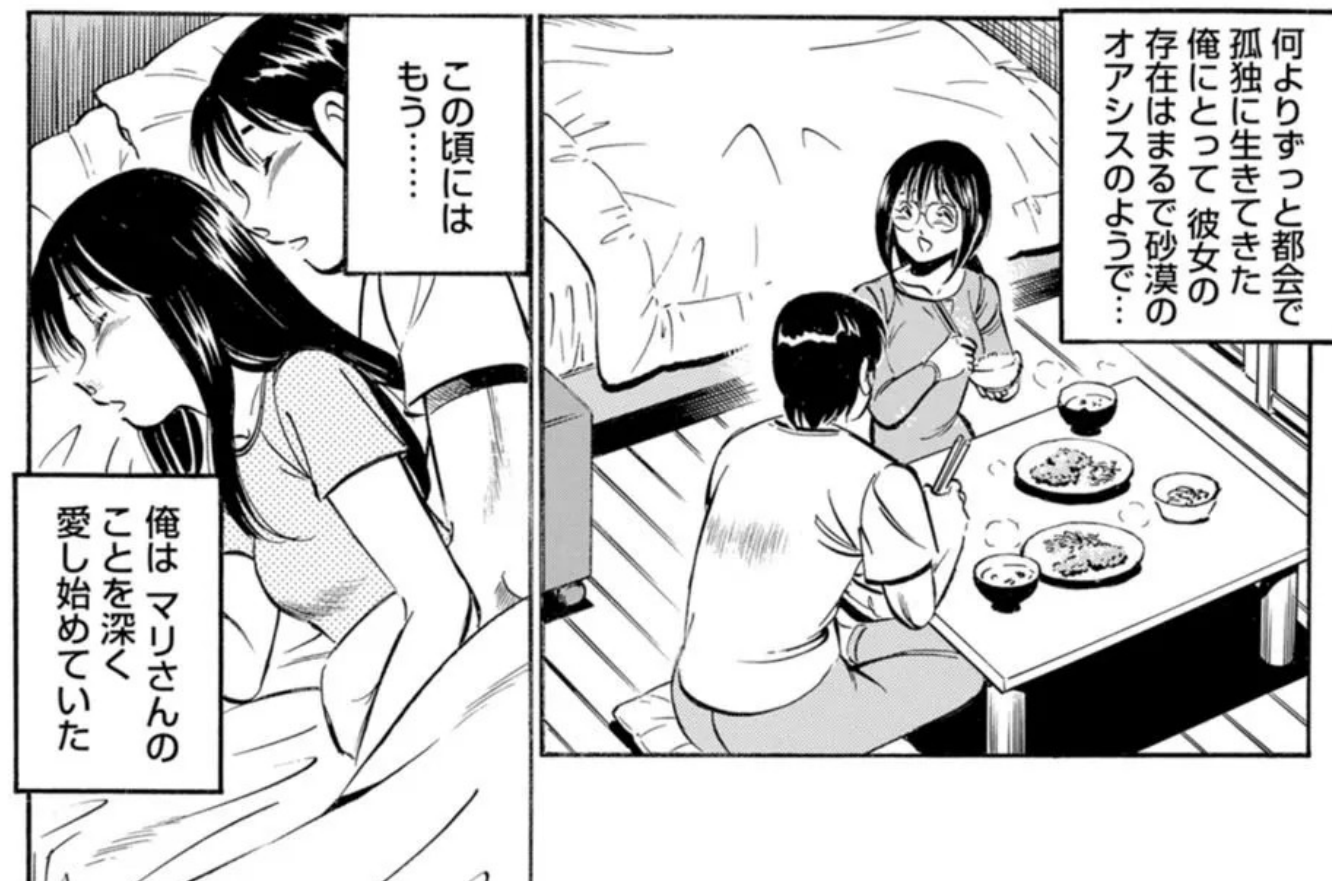
そうして俺と  
マリさんは  
つき合い始め…

その翌月には  
一緒に暮らすこと  
になった



一人で暮らすより  
二人で暮らす方が  
家賃も食費も  
安くすむからと  
提案したのは  
マリさんだった

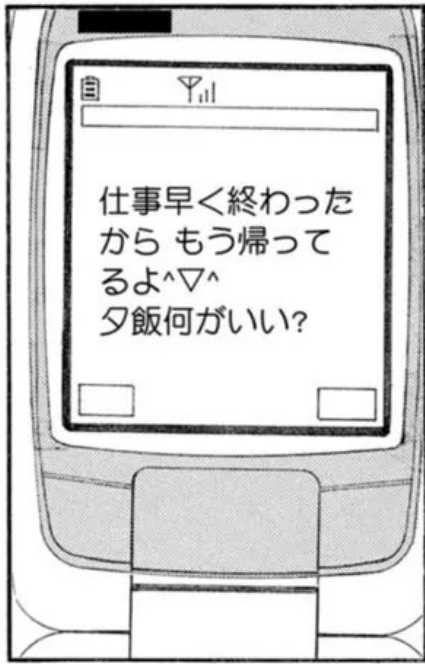
もちろん  
金のない俺に  
異存はなかった



何よりずっと都会で  
孤独に生きてきた  
俺にとって彼女の  
存在はまるで砂漠の  
オアシスのようで…

この頃には  
もう……

俺はマリさんの  
ことを深く  
愛し始めていた



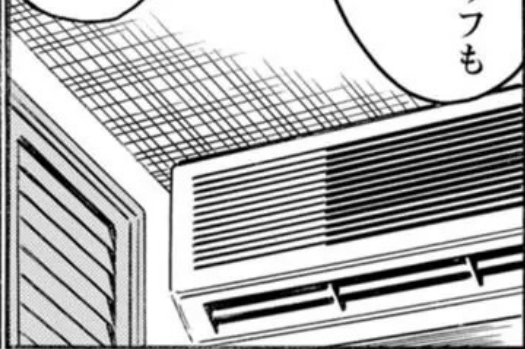


頑張って  
ね♡

マリさんは  
いつも  
優しくかった

すごい  
じゃない！

ちゃんとセリフも  
あるんだぜ  
3つも



たった  
一言のセリフ  
3回もNG  
出しちゃって

私なんて  
しょっちゅうだよ  
大丈夫 大丈夫

仕事がない時や  
失敗した時は  
慰め励まして  
くれた：



お互いの夢を語り  
合い分かち合い  
時には激しくその  
温もりを求め合う  
……

お金や仕事が  
なくても彼女さえ  
いてくれれば俺は  
それで十分だった

手伝う  
って

家事のほとんどを  
嫌な顔一つせず  
進んでやってくれた



いいから  
シユースクは  
座ってて



このまま二人で  
いられるのなら  
それでもいいと  
本気で思い始めて  
いた

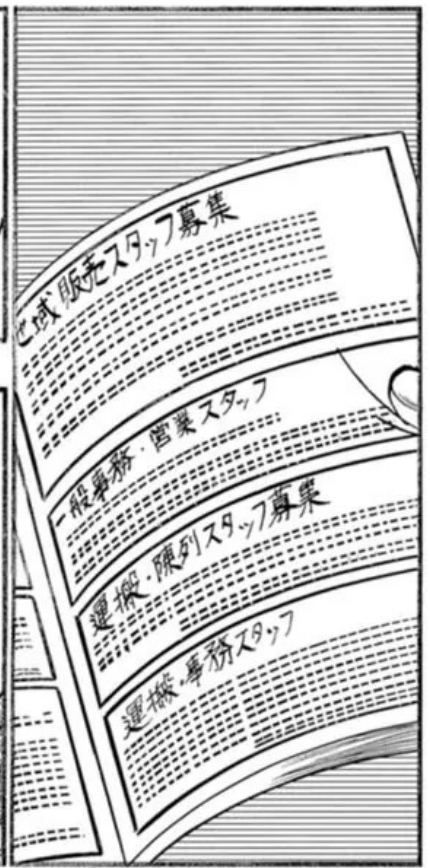


たとえ俳優に  
なれなくても…



手取りで  
月18万か…

事務所の  
給料より全然  
いいよな



最近エキストラの  
仕事しか回って  
こねーし……

ポチポチ本気で  
将来のこと考えた  
方がいいのかもな

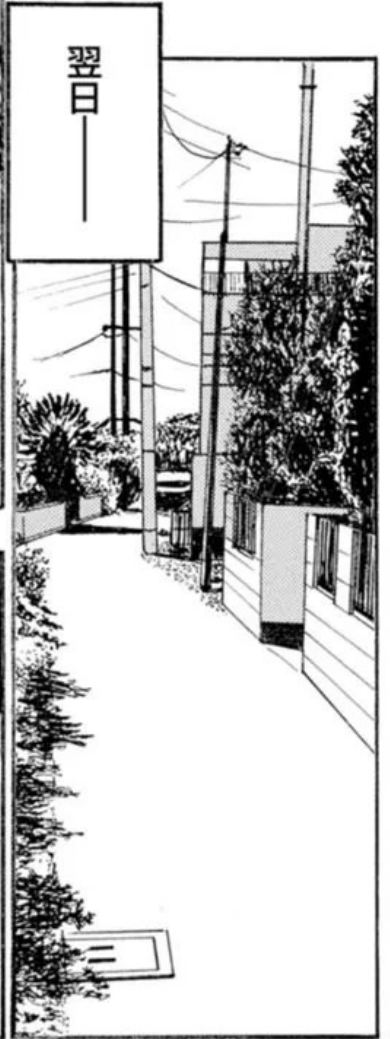


やったよ  
シューサク  
!





妊娠...  
したみたい



翌日



えっ...

ひと月くらい  
前から生理が  
来なくて...

もしかしたらとは思  
ったけど今日  
病院で診てもらっ  
たら間違いないって



い急ぐって  
何を?

決まってる  
でしょ子供を  
堕ろすのよ



.....  
急がなきゃね

つわりも始まっ  
ちやってる  
みたいだし



な……

何バカなこと  
言ってるんだよ  
俺たちの子供  
だぞ！

産めばいい  
じゃないか！  
産んで一緒に  
育てよう！



結婚しよう  
マリさん

少し前から俺  
役者辞めること  
考えてたから  
丁度いい  
機会だよ



役者を辞めるって  
…何言ってるの  
シューサク

あたしは嫌よ！  
やっとなチャンスが  
巡ってきたのよ！

声優を辞めて  
結婚して子供  
育てるなんて  
絶対に嫌！！



ちゃんと就職して  
君と子供の面倒を  
みるよだから…

やめてよ！  
何簡単に夢を  
あきらめちゃ  
ってるのよ！！



マリさん…

あの優しい  
マリさんが…



それにシューサクの  
ことは好きだけど  
あたし結婚なんて  
考えてない

もちろん  
子供だってまだ  
欲しくないの!!



明日  
病院に予約  
入れてきたから

…同意書に  
サインをして



今まで見たことが  
ないほど険しい顔を  
して俺を睨んでいた

それは俺が今まで  
全く知らなかった  
彼女だった



私にとって  
何より大事なのは  
自分の夢なの

お願いよ  
シューサク…



い嫌だ!  
俺は絶対  
サインなんか  
しないからな

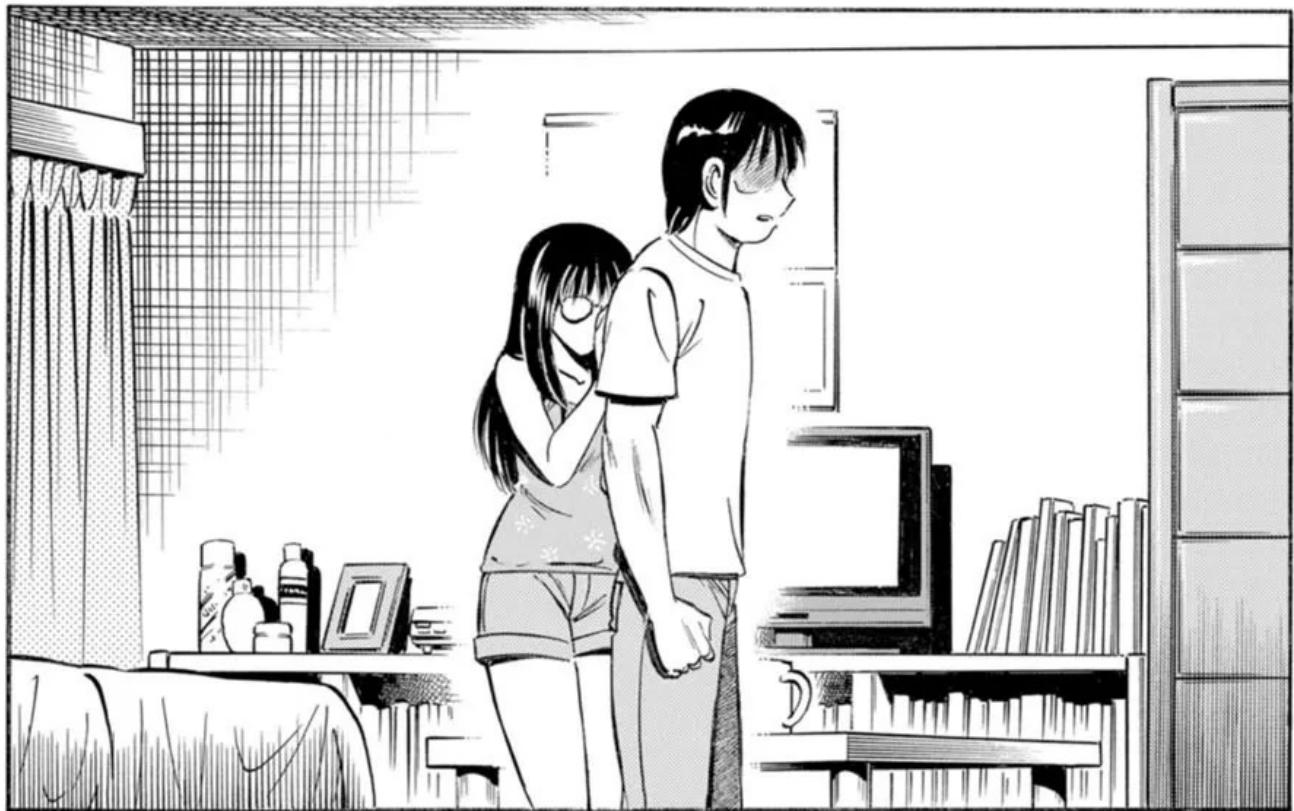


お願い



小さい頃からの  
大切な夢……

あなたより  
お腹の子供より  
それはずっと  
ずっと大事なの



翌日  
マリさんは  
子供を墮ろした

そして俺たちは——  
まるであれが  
離婚届のサインで  
あったかのように  
気持ち離れて  
しまい……



それからわずか  
ひと月足らずで  
別れてしまった



この声...

マリさんだ

2年後

島田修作様



それは...

かつては耳元で  
聞いていた甘く  
透明感のある声

世界中で一番  
好きだった  
声...

悪モノの  
皆さん  
覚悟して  
下さいーい!

皮肉なことに  
マリさんと別れた後  
最後と思って受けた  
オーディションに  
俺は受かってしまい…

この2年のうちに  
連ドラで準主役の  
役がもらえる程の  
俳優になっていた

島田さん  
お願いしまーす

はい

それでも  
時折ふと  
思うのは

有り得たかも  
しれない  
もう一つの夢だ

役者を辞め  
マリさんと  
子供と3人で  
平凡だけど幸せに  
暮らす現在…

けれど—  
今は振り返る  
のはやめよう

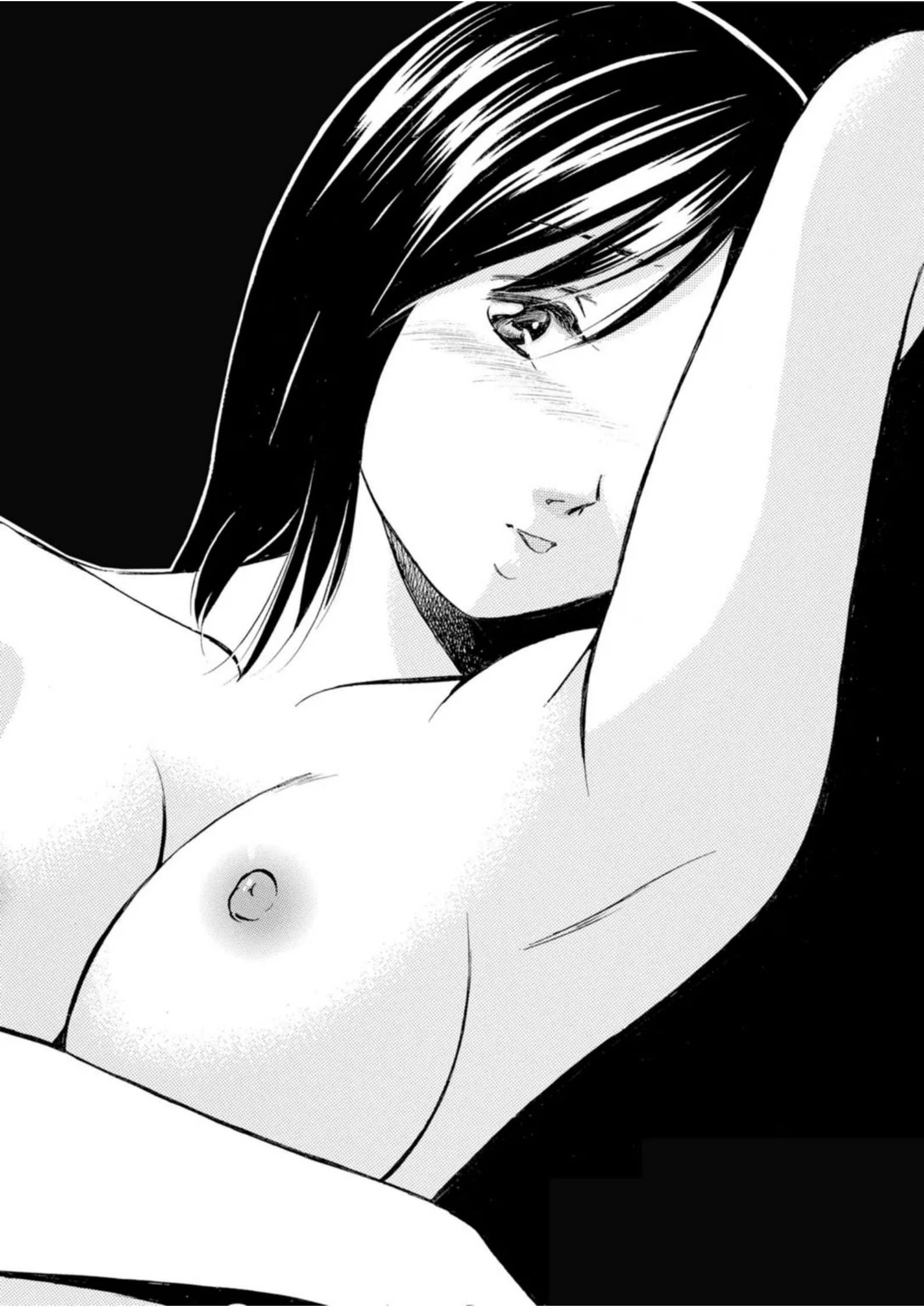
彼女もきつと心の  
どこかで悔やみながら  
それでも前だけを見て  
夢を追い続けている  
のだから…



# 年上彼女の締まるナカ ～初恋女性と浮気エッチ

---

第2話



遠い昔の記憶だ

その時  
俺の視線の先には  
………

一人の女の子がいた



学校帰りにわか  
降り出した雨は  
あっという間に  
激しい夕立ちになり  
………

やむを得ず避難した  
軒先にすぐさま  
彼女はとび込んできた



彼女は  
見知った女の子だった

年はたぶん俺より  
3つか4つ上の中学生……

同じ町内に住んでて  
時折顔を合わせるが  
名前は知らない……





彼女は雨に濡れた身体を  
ハンカチでふいている

そして俺は彼女の  
その大人びた仕草に  
目が吸い寄せられていた



何年生？

たまたま  
道で会うよね



そっか  
4年生か

かろうじてそう  
言葉をしほり  
出した



よ  
4年……



しばらく  
止みそうに  
ないねー

雨に濡れて  
彼女の制服は  
透けていた…



あ……



その膨らみかけた  
胸とそれを包む  
下着の線が見えた  
瞬間俺は……



あちよつと！  
濡れちゃうよ



はっ

はっ



どっしりもないうら  
息苦しくなり

気がついた時には  
雨の中を  
かけ出していた



けれど俺はと  
いえば……

なぜか彼女の顔が  
まともに見られず  
うつぶいて目をそらす  
だけだった



彼女とはその後も  
時折顔を合わせる事が  
あった

あの時のことを覚えて  
いるのか目が合うと  
彼女は軽く微笑んでくれた



そんなことを  
何度かくり返す  
うちにやがて  
俺は中学生になり  
彼女は高校生に……

そして俺が高校生に  
なった頃には……

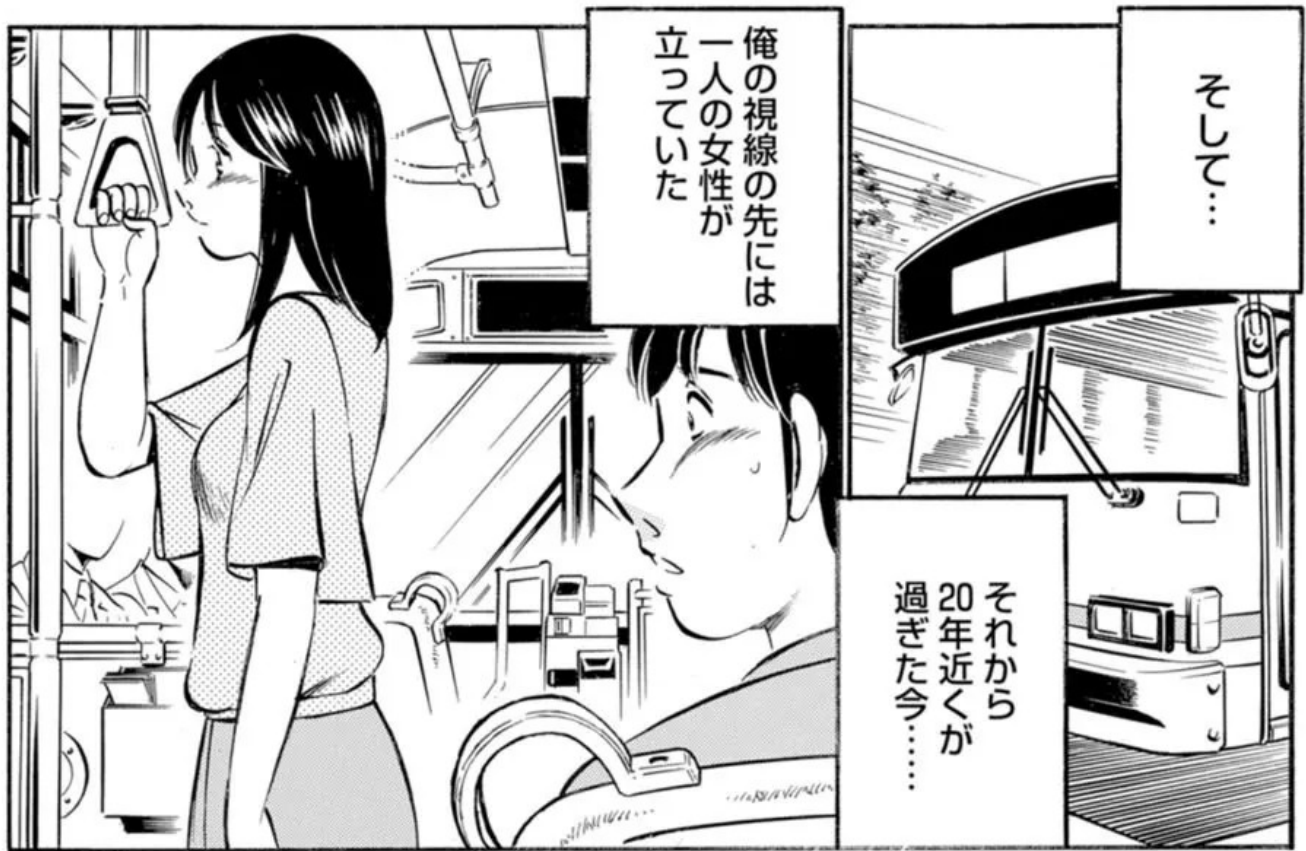


いつの間にか……

彼女を町で  
見かけることは  
なくなっていた

たぶんそれが  
俺の初恋……

俺が初めて  
異性とときめいた  
記憶だ



そして…

俺の視線の先には  
一人の女性が  
立っていた

それから  
20年近くが  
過ぎた今…



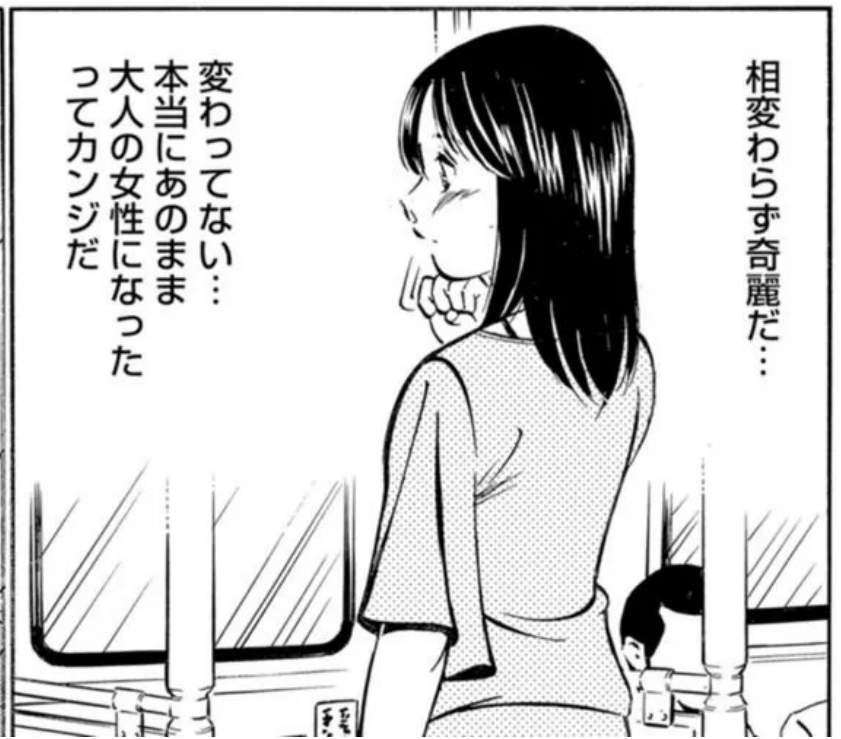
彼女だ…!!

なぜかそれが彼女で  
あると一目で俺は  
確信した

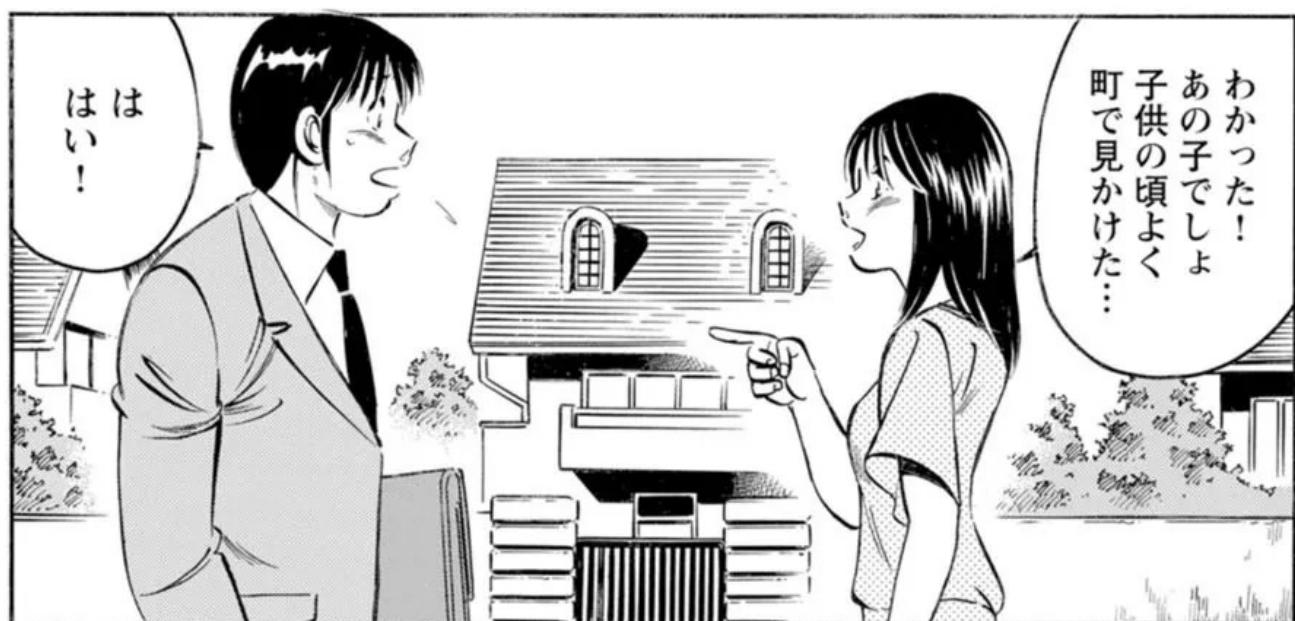


都心から離れた  
ところにある  
営業先からの  
帰り道…

俺村<sup>しょうじ</sup>上正吾は  
たまたま乗った  
バスの中で  
十数年ぶりに  
彼女を見つけた









結婚か…

当たり前か  
あれからもう20年  
近く経つんだし

お子さんは  
いらつしやるん  
ですか？

いるわよ  
生意気盛りの  
小学生の男の子が  
二人も



あなた…  
ご結婚は？

あはい  
おとし  
一昨年に  
やっと



うちは  
まだです

気さくな女性だ  
な…子供の頃町でよく  
会っただけの俺と  
こんなに話をして  
くれるなんて

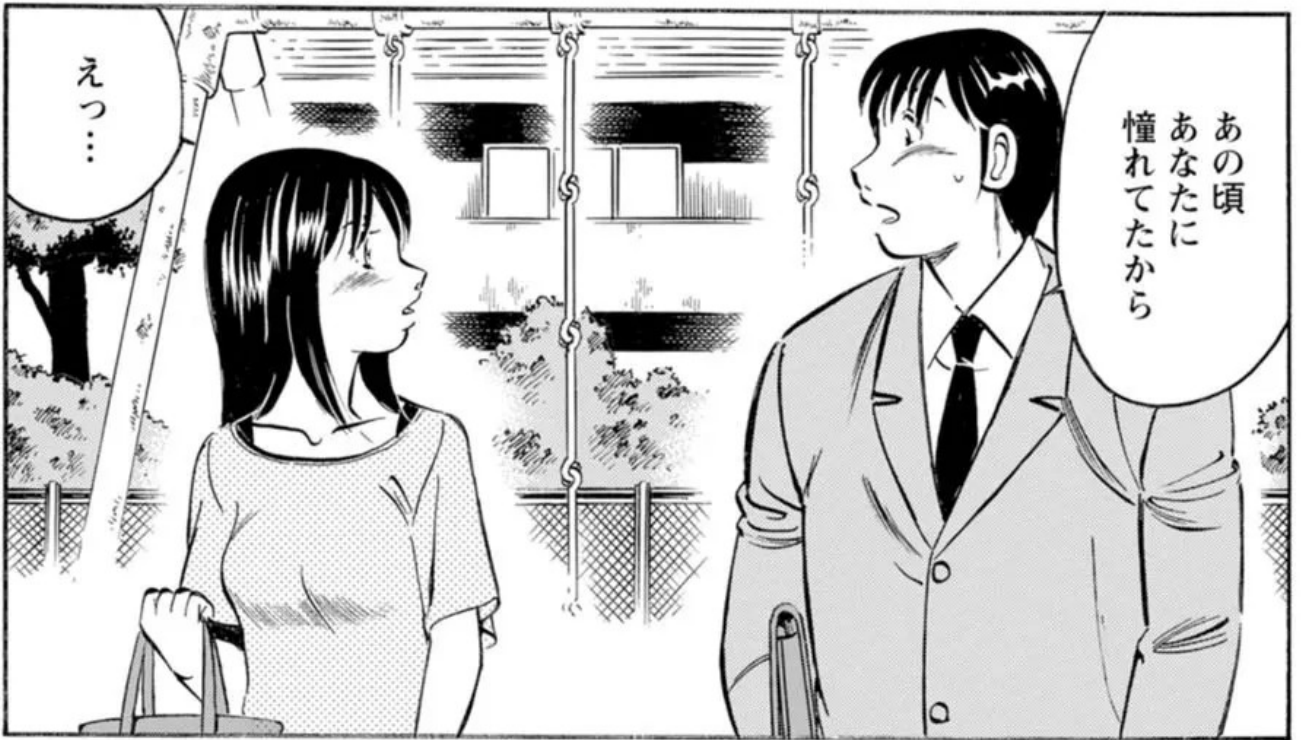


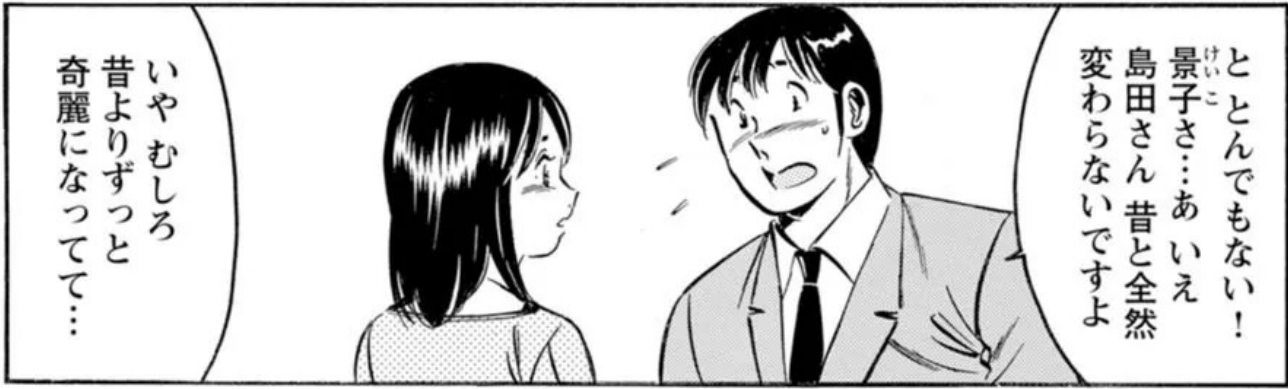
こっちで  
仕事を？

あええ  
食品会社の営業  
やって今日も  
その帰りで

まさかこんな所で  
あなたにまた  
会えるなんて  
思ってもみません  
でした

村上さんだっけ  
でもよくわかった  
わね私のこと







幼かった頃の  
あの日のあの  
甘酸っぱい記憶が  
鮮明に甦<sup>よみがえ</sup>ってきた

彼女がそう  
言った時…



まだ2時でしょ  
あの子たちが帰る  
のはいつも  
4時過ぎだから

お子さんたち  
そろそろ帰って  
くるんじゃない…



夕立ちみたい  
だからすぐに  
止むわよ

すみません…  
でもいい家  
ですね



あ……



そういえば一度  
一緒に雨やどりした  
ことがあったわね

お  
覚えてて  
くれたンスか

話しかけたら  
真っ赤になって  
うつむいて  
そのうち走って  
逃げちゃって

あああの時は  
照れくさくて…

今でもハッキリ  
覚えてる……

雨に濡れた  
彼女の制服が透けて  
下着が浮かびあがって……

それを見た時  
俺はどうしようもなく  
息苦しくなって……

可愛かったな  
すごく恥ずかし  
がり屋の男の子  
ってカンジで

でも今は  
違うみたいね

え？

だって今日は  
あなたの方から  
話しかけてきた  
でしょ

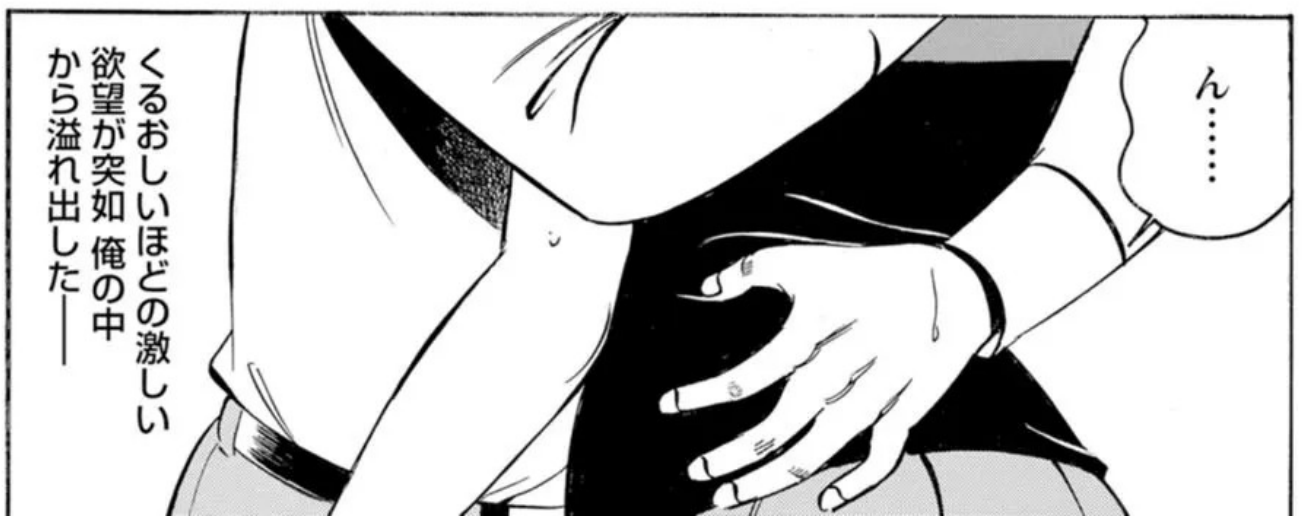
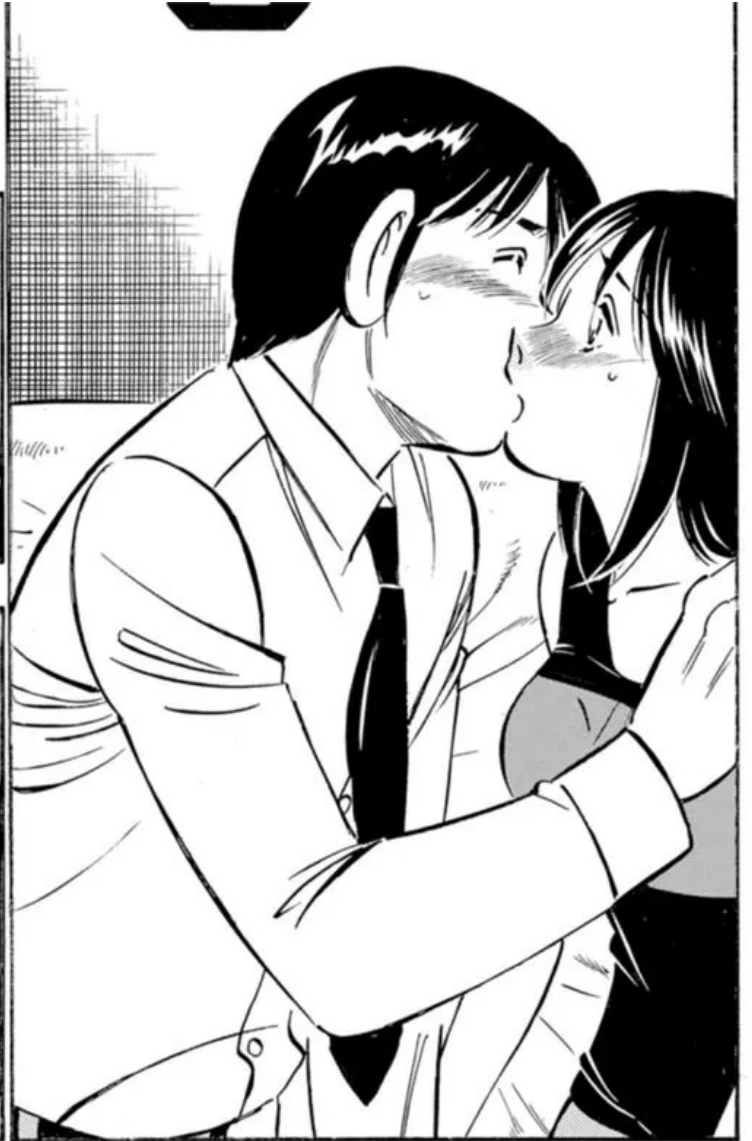
憧れの女性だった  
って言ってもらえて  
嬉しかったわ

ああ……

やっぱりあの頃の  
面影が残ってる

俺が初めて意識した  
年上の女性……

キゅッ







口とは裏腹に  
彼女の身体に抵抗する  
意思はなかった

あの頃よりずっと  
大きくなった胸に  
顔を埋め…

その身体のすみずみまで  
舌をはわせた

ああっ…

俺は初めて触れる  
初恋の女の身体に  
夢中になった

その甘い唇を  
思いきり吸い



あっ

ああん

す  
すごいわ…

すごく  
…いい





20年分の思いを  
彼女の中に全て  
吐き出した



私たちは今日  
ほんの少し  
あの頃に戻って  
遊んだだけ

あなたにも私にも  
今の生活がある  
そうでしょ？



約束して…  
これきりに  
するって

え……



あなたはあの頃の  
ままの目で私を  
一人の女として  
見てくれた

それが何より  
嬉しかったの

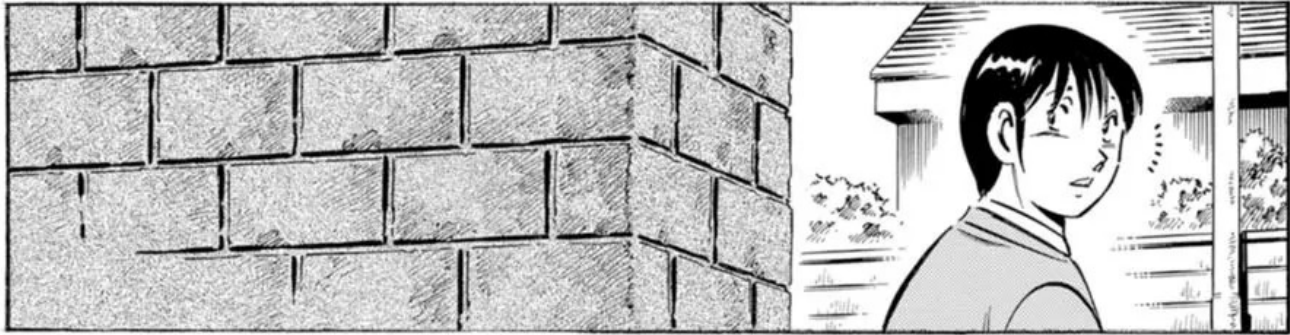


ありがとう

およそ  
20年ぶりに  
再会した初恋の  
女性は……

そうやって  
ほほえ  
微笑んだ

あの頃の  
面影のままに



景子……か

島田

景子  
雅人

利夫  
優

考えてみれば  
俺は今日まで  
彼女の名前すら  
知らなかったん  
だよな……

初めて知った  
初恋の人の名前を  
深く胸に刻み……



雨の通り過ぎた  
さわやかな風の吹く  
町を俺は後にした



# 年上彼女の締まるナカ ～初恋女性と浮気エッチ

---

第3話



平凡で平穩な人生にも  
時折思いもかけない  
ことが起る……

俺にとってまさに  
今日がそうだった

どう？  
利彦さん

気持ち  
いい……？

ああ  
ああ

最高だ……  
唯ちゃん

頭の中でこれはヤバい  
いけないことだとわかって  
いたが俺の腰は  
止まらなかった

あっ

あーん！

彼女の名前は  
小島唯

女房の年の  
離れた従妹  
だった

ご無沙汰して  
ます利彦さん

い……  
いらっしやい

奇麗になったな  
唯ちゃん  
はっ

彼女がうちに  
来たのは2日前  
……

来年短大を卒業する  
彼女は会社説明会  
まわりに都心から  
ほど近い我が家に  
しばらく滞在する  
ことになったのだ





そうだね まあ  
僕は係長だから  
ただ立ち会う  
だけだけど

私に是非<sup>ぜひ</sup>  
レクチャーして  
下さい!

どうやったら  
面接官に好感を  
持ってもらえるか

やった!

えっ…



—ですから  
御社のグローバルな  
思想と社風こそ私の  
目指すところの…

え?

そういう  
マニュアル本  
丸写しの答え方は  
やめた方がいいよ

ちよちよっと  
待って

今は  
どこの会社も  
個性を重視  
してるから

何を話すにしても  
自分の考え方を  
自分の言葉で話す  
ようにしないと



そうなんだー



しかし唯ちゃん  
すっかり大人の女性に  
なったな…

最後に会った時はまだ  
中学生だったし

まああの頃から  
妙に色気のあるコ  
ではあったけれど…

しかし…

印刷会社に  
大手スーパ  
ー  
運送会社に  
パチンコメーカー  
って…

希望してる  
会社って見事に  
バラバラだな

いったい  
一体唯ちゃんは  
どんな仕事に  
就きたいんだい？

就きたいん  
じゃなくて  
就けそうなトコを  
探してるんですよ

ぶっちゃけどうせ  
事務しかできないし  
どこで働いても一緒  
じゃないですか

これだから  
今のコは…

あのね唯ちゃん  
仕事ってのは…





いや...

利彦さん  
あたしのパンツ  
見たでしょ

さつき...



なんだ  
この甘えるような  
上目遣いは...

ねえ...  
もっと見たい

えっ

いいんだよ  
利彦さんなら  
見ても...



はい!

ちよっとー  
まだやってるの  
早くお風呂に入り  
なさい唯







やっぱ  
大きいな！

女房の従妹…俺とはこれまで  
あまり面識もなかったのに



会社説明会が  
この近くであつて  
それで利彦さんの  
会社が見たくなって  
来ちゃった♡



仕事は  
何時まで？

あああ  
あと1時間  
くらいかな

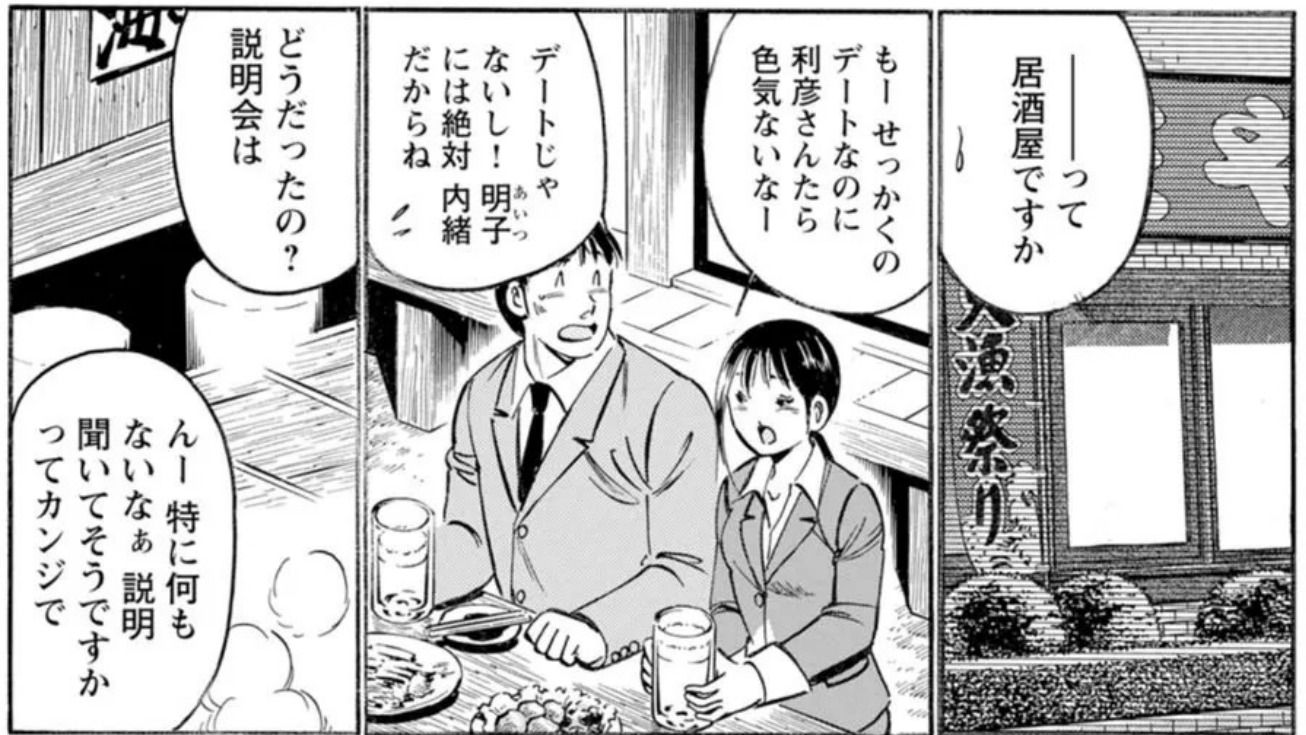


帰ろうって  
……



わかった  
一緒に帰ろう





——って  
居酒屋ですか

もーせっかくの  
デートなのに  
利彦さんたら  
色気ないなー

デートじゃ  
ないし！明子  
には絶対内緒  
だからね

どうだったの？  
説明会は

んー特に何も  
ないなあ説明  
聞いてそうですか  
ってカンジで



仕事なんて  
何やったって一緒  
だものガマンして  
働いてお金もらう  
だけなんだし

そういう  
考え方は  
よくないよ

仕事はどれも  
同じじゃないし  
向き不向きだって  
あるんだから



自分の入れそうな  
トコとかお金とかの  
条件だけで仕事を  
選んじやダメだよ

唯ちゃんが  
本当にやりたい  
仕事を  
探さなきゃ

君はまだ  
若いんだから  
あきらめずに  
探せばきっと  
見つかるよ

仕事って  
人によっては  
生き甲斐にもなる  
大事なものだ  
から



別に派遣でも  
フリーターでも  
何でもいいじゃ  
ないか

自分の  
向いてそうな  
やってみたい仕事を  
選んだ方が僕は  
いいと思うよ

.....



：ウチの親  
なんかさ

どこでもいいから  
ちゃんと就職しろ  
東京で無理なら  
地元でコネで探して  
やるからって



とにかく  
世間体  
なんだよね...

利彦さんのほうが  
全然親身に  
なってくれてる

嬉しかった...

そう？

大人だね  
利彦さんて



あたしの方が好きになっちゃうの…  
年上の人ばかりを



前にあたし  
オジサンばつかに  
モテるって  
言ったでしょ

でも本当は  
違うの



ままただ

あの小悪魔的な  
上目遣い……



このスカート  
の奥まで  
バッチリ見せて  
あげるから…

今度は…



ねえ…この前の  
続きしません  
？

つ…  
続きって？



ああれ  
……

何かヤバい雰囲気  
じゃないかこれ



個人面接  
♡



ああ…  
唯ちゃん

細くてしなやかで  
ポリウムがあつて…

利彦さん…

なんてセクシーで  
蠱惑的な身体…!!

まるで熟れた甘い  
水蜜桃のようだ

ああん

す  
す  
すごい…

こんなとろける  
ようなセ●クス…  
初めてだ



ゆ  
唯ちゃん…

まさにこのコは  
男を魅了する  
天性の小悪魔…



いい…  
利彦さん



この身体はまさに…

あつ

あん

あつ

もっと…激しく  
かき回して



…!!  
んああん

禁断の果実だ  
……!!





あああ  
ごめん

なかなか  
中々会いに来て  
くれなかった  
から唯  
寂しかったよ

いらっしやい  
利彦さん♡



——っと  
ここでは麗美  
だったっけ

今や彼女は  
業界随一のキャバクラの  
ナンバー1の売れっコ…



今晚  
お店10時に  
上がるから…  
ね♡

そして俺も…  
あの夜から彼女の  
魅力に囚われた  
ままにいる



数多くの客を転がし  
一晩で何十万もの  
お金を稼ぎ出す…

まさに彼女にとっては  
これが天職だったの  
かもしれない

早く  
来よう♡



# 年上彼女の締まるナカ ～初恋女性と浮気エッチ

雅亜公

© 雅亜公 / 秋水社 ORIGINAL